

南西諸島産アリ類数種について

東京大学教養部生物学教室 寺山 守

TERAYAMA, Mamoru: New records of some ant from the Nansei Islands, Japan.

Trachymesopus darwini (FOREL), *Pentastruma sauteri* FOREL and *Rhopalomastix* sp. were collected from the Nansei Islands; tribe Melissotarsini is new to Japan.

南西諸島から得られた幾つかのアリを発表したい。標本を提供、あるいは貸与くださった高嶺英恒、南部敏明氏にお礼申し上げる。

1) *Leptogenys confucii* FOREL

沖縄本島, 大口林道, 21. Ⅶ. 1982, 2 workers, 高嶺採; 奄美大島, 湯湾岳, 30. Ⅴ. 1983, 1 ergatogyne, 1 male, 7 workers, 寺山採; 奄美大島, 湯湾岳, 1. Ⅴ. 1983, 6 workers, 寺山採; 徳之島, 丹発山, 7. Ⅶ. 1984, 1 ergatogyne, 10 workers, 寺山, 久保田(敏)採。

久保田(1984)は鹿児島県佐多岬から本種を報告しているが、筆者も佐多岬での分布を確認した。本種は台湾, 沖縄, 奄美, 佐多岬という地域の順に体色が濃色になる傾向を示す。

2) *Trachymesopus darwini* (FOREL)

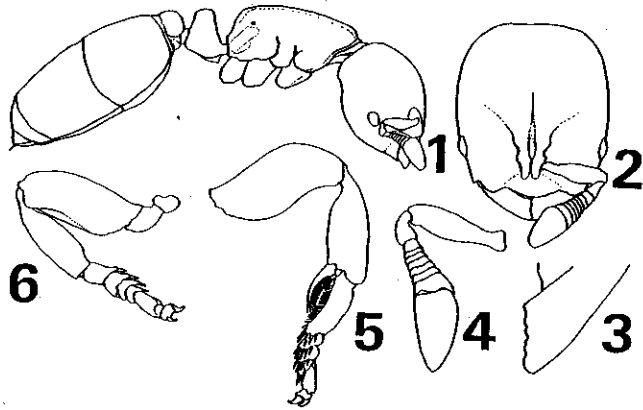
西表島, 古見, 24. Ⅶ. 1978, 1 alate female, 南部採。

雌アリの体長5mm程度, 黄褐色の種で大アゴに不規則な7歯を有す。中・後脚の脛節刺は2本であるが、日本産の他の *Trachymesopus* 属の種とは異なり大アゴの基部外面に小孔 (basal mandibular pit) を持たない。本種はオーストラリア北部, インドネシア, フィリピンからインドを経て熱帯アフリカまで広く分布しており (BROWN, 1963), 台湾からも得られているが、これまでの記録は全て雌アリによるもので働きアリはまだ知られていない。

3) *Rhopalomastix* sp. (Figs. 1-6)

石垣島於茂登岳, 28. Ⅶ. 1977, 2 workers, 高嶺採。

黄褐色, 体長2mmの小型種。触角は10節で頭部に比べ非常に短い。触角及び腿・脛節は著しく扁平である。また、第2腹柄節後縁はその全面で腹部と連結している。本属を含む *Melissotarsini* 族は日本からは初記録になる。本属は東南アジアから5種・亜種が記載され



Figs. 1-6 *Rhopalomastix* sp. (Worker). 1: lateral view, 2: head, 3: mandible, 4: antenna, 5: fore leg, 6: middle leg.

ているが、沖縄産の本種はそれらのいずれの記載にも一致しない。

4) *Pentastruma sauteri* FOREL

沖縄本島, 与那覇岳, 19. Ⅲ. 1977, 2 workers, 高嶺採。

従来台湾からのみ記録されていた種である (BROWN and BOISVERT, 1979)。今回沖縄本島から得られた個体と台湾産の個体との形態を比較した結果、それらはほぼ一致した。

文献

BROWN, W. L., Jr. (1963) Characters and synonymies among the genera of ants. Part III. Some members of the tribe Ponerini (Ponerinae, Formicidae). *Breviora*, 190: 1-10.

BROWN, W. L., Jr. and BOISVERT, R. G. (1979)

The dacetine ant genus *Pentastruma* (Hymenoptera: Formicidae). *Psyche*, 85: 201-207.

久保田政雄(1984) アリに関する記録(4). 蟻, 12:12.